横浜市立鴨志田緑小学校

学校 HP 更新中　鴨志田緑小学校　検索

学校だより　１１月号

令和５年１０月３１日発行

ふるさとに学び　ふるさとで遊び　ふるさとを愛する子　～ふれあいかがやき豊かな心～

「今年のかもリンピックは」

副校長　　土井　茂

朝夕の寒さで山々の木々が少しずつ色づいてきました。紅葉に彩られた秋の山を「山粧う（やまよそおう）」といいます。「山粧う」という言葉は、山々が秋の訪れとともに紅葉で色づく様子を表しています。

さて、今年の「かもリンピック」を振り返って、私が一番感じたのは、子どもたちの生き生きとした姿です。いつも思うことですが、最初はできないことも友達と教え合ったり励まし合ったりしながら徐々に自信をつけていく。そして、当日はどの子も自信に満ち溢れた姿を見せる。一生懸命頑張る姿に、スローガンの「かがやこう　もりあがろう　しんじよう仲間を　だんけつしよう　４０年で１番楽しめる運動会にしよう」の姿が現れていました。どの学年の、どの競技や演技においても本気度１００％の表情でした。ほんとに素晴らしくみんな輝いていました。今年度は４・５・６年生が中心となり応援をする姿。子どもたちは、気合いの入った手作りうちわでの拍手や心からの声援を送っていました。児童代表のリレーでは、颯爽と走ったり、流れるバトンパスをしたりと、みている方も心が熱くなりました。参観いただいた保護者の皆様からも、大きな声援をいただいて、子どもたちは、いつも以上に力を発揮したことはいうまでもありません。

そして何より、今回のかもリンピックも保護者の皆様の支えが大きかったです。毎日の健康管理をしたり、子どもたちのモチベーションを上げたりと、本当にお世話になりました。そして当日は、帰宅したお子様たちに、きっと「がんばったね。かっこよかったよ」などのねぎらいの言葉をかけていただいたと思います。その時に一緒にぎゅっとハグしてあげたご家庭も多かったのではないでしょうか。実は、スキンシップによって体の免疫力が上がるといわれています。免疫力を高めて病気に負けない身体を作っていけたらうれしいです。

かもリンピック後の子どもたちの振り返りでは、「お父さん、お母さんにみてもらえて、本当に嬉しかった！今日は楽しい一日だった。」「高学年のソーラン節は気合が入っていてすごかった」「低学年の演技はとてもかわいかった」「中学年のたいこ（パーランクー）の音が一つになっていてきれいだった」など、ほかの学年の演技や競技を見て刺激を受けたようです。

さて、かもリンピックは終わりました。しかし、子どもたちの学習や生活は終わったわけではなく、これからも続きます。日々の授業を充実させていくことはもちろん、１１月は、遠足や宿泊体験学習、音楽会。それが過ぎれば、もう１２月。これまで着実に、子どもたちは力を付け、成長してきています。コロナもインフルエンザも、心配なことはなくなりませんが、それでもこれまで同様、子どもたちの健やかな成長のために、学校、家庭、地域がひとつになり、子ども達の豊かな教育活動を支えていきたいです。ご支援とご協力をお願いします。